

県立大 **糖尿病看護**

山陽学園大 **皮膚、排せつケア**

県立大（総社市窪木）と山陽学園大（岡山市中区平井）は19日、特定分野で高い知識と技術を備えた認定看護師を養成するプログラムを、2011年春スタートさせる計画を発表した。県内初の取り組みで、県看護協会（同市北区兵団）と連携。県立大は「糖尿病看護」、山陽学園大は「皮膚、排せつケア」分野で高度な医療に対応する人材育成を目指す。

## 来春から 県協会と連携

**ポイント** 認定看護師 医療の高度化に対応し、日本看護協会が1995年に制度を発足させた。救急看護、緩和ケア、感染管理など21の専門分野ごとに資格認定する。5年の実務経験者が対象で、同協会認定機関で600時間以上の授業や実習を修了した上で、試験に合格する必要がある。資格は5年ごとの更新制。

看護師資格を持って 情報管理、臨床薬理学 いる人を対象に、定員 など120時間の共通 科目は県看護協会が担 度未までに630時間 当する。 授業、実習を行う。 県内の認定看護師 は101人（1日現 在）。県内には教育機 関がないため、資格取 得希望者は県外で学 ばなければならず、そ の間休職する人が多 かった。今回のプログ ラムでは仕事と両立 医や大学教員が指導。

できるよつ、週後半に 授業を集中させる方 針。 県看護協会が、患者 数が多くニーズが高い

# 認定看護師 県内で養成

両分野での設置を県内の看護師養成機関に呼び掛け、両大学が応じた。 31日に日本看護協会に申請し、12月ごろ認定が通知される見込み。同看護協会によると、各県の看護協会と大学が合同でプログラ ムを開設した例はない

という。 県看護協会の祇園寿恵子常務理事は「患者のQOL（生活の質）向上に看護師が果たす役割は大きい。地域医療で活躍するリーダーを1人でも増やしたい」と話している。 （黒崎平雄）